

いきなり開幕戦で有力チームが激突！

～9月6日スタート!! 第33回日本ハンドボールリーグ～

第33回日本ハンドボールリーグの開幕が目前に迫ってきた。9月6日沖縄での女子・ソニーセミコンダクタ九州-北國銀行戦を皮切りに熱戦がスタート。10月はじめの大分国体をはさんで12月初旬まで連戦が続き、新春1月24日に再開されたあとも3月1日のレギュラーシーズン終了まで各チームの激しい順位争いが休みなく展開される。プレーオフ（3月14、15日・東京）は、これまでと同じくレギュラーシーズンの男子上位4チーム、女子3チームが進出して優勝を争う。

初参加の琉球コラソンを加えた10チームが火花を散らす男子は、北京オリンピックでも活躍した白元皓を軸に、末松、武田、富田らの充実した布陣で4連覇を狙う大同特殊鋼に続き、山口兼任監督のもと7mスローコンテストで涙をのんだ前回プレーオフ決勝の雪辱を誓う湧永製薬、先の全日本実業団選手権で栄冠を握って4年ぶりの日本リーグ制覇に向けて好スタートを切った大崎電気が上位3強を形成する図式に変わりはなく、プレーオフへの残り1枠をめぐり、トヨタ車体、Honda、トヨタ紡織九州、北陸電力の4チームが激しいつばぜり合いを演じる展開になりそう。そのほか、1つでも上位へのランクアップを狙うトヨタ自動車、豊田合成、そしてフレッシュムードみなぎる琉球コラソンのチャレンジぶりが見ものだ。

女子は洪廷昊、佐久川、G K勝田らの円熟したベテランの経験、勝負強さに、東濱、藤井らの若いパワーをミックスさせて前回V3に輝いたオムロンが今期も進撃を狙うが、前回のプレーオフ決勝でオムロンと1点差の激闘を演じたソニーセミコンダクタ九州、先の全日本実業団選手権で15年ぶりのタイトル獲得と上昇ムードに乗る北國銀行がストップ・ザ・オムロンに闘志を燃やす。過去に不滅の7連覇に輝くなど女王の名をほしいままとした広島メイプルレッズは4位とランクダウンした前回の汚名返上を期しており、上位陣との差を着実に詰めている三重バイオレットアイリスも、スタートではずみをつけてプレーオフ圏内への突入を狙う。前回15戦全敗に終わったH C名古屋はホームの熱い応援を背に、まずは1勝で波に乗りたい。

第1週は6、7日に神奈川、沖縄、北海道、三重で男子5試合、女子3試合が組まれており、男子では大同特殊鋼-トヨタ車体、大崎電気-湧永製薬と、前回のプレーオフ進出4チームが激突するほか、女子もオムロン-広島メイプルレッズ、ソニーセミコンダクタ-北國銀行と今後の優勝争いに直結する好カードが目白押し。そのほかの4試合も実力差の接近で1点を争うクロスゲームが予想され、開幕ダッシュを狙う各チームの気迫あふれるプレーがスタンドの目を奪いそうだ。



4連覇を狙う①大同・武田、②オムロン・洪

第1週の日程

9月6日（土）	神奈川・横浜文化体育館（JR京浜東北・根岸線関内駅南口徒歩5分）14:00～（女）オムロン×広島メイプルレッズ 16:00～（男）大同特殊鋼×トヨタ車体
	沖縄・浦添市民体育館（琉球バス（90番具志川行）「浅野浦」徒歩1分）13:00～（女）ソニーセミコンダクタ九州×北國銀行 14:40～（男）琉球コラソン×トヨタ自動車
9月7日（日）	北海道・北海道立総合体育センター「きたえーる」（地下鉄東豊線豊平公園駅徒歩1分）13:00～（男）北陸電力×豊田合成 15:00～（男）大崎電気×湧永製薬
	三重・鈴鹿市立体育館（近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」徒歩5分）13:00～（女）三重バイオレットアイリス×H C名古屋 15:00～（男）Honda×トヨタ紡織九州

●大同を軸に湧永、大崎で上位3強を形成 男子



大同特殊鋼

前回リーグでは3連覇達成と、円熟期に入っている王者。7月末から8月にかけて行われた全日本実業団選手権では北京オリンピックに出場した白元諒、李才佑の韓国コンビ、体調不良で戦列を離れた守護神・高木と3人の主力を欠いたこともあり、不本意な3位スタートとなったが、高木の穴を埋めた2年目GK・東を始め、個々の成長、自覚ははっきりと感じられた戦いを見せた。その結果を謙虚に受け止めて迎える今回のリーグ。末松、武田、富田、岸川の日本代表組の充実も著しく、戦力を整えて迎える開幕戦からエンジン全開してリーグ4連覇へと突き進む。



大崎電気

前哨戦となる全日本実業団選手権で4年ぶりの優勝を果たし、勢いに乗って開幕を迎える。スーパースター宮崎ばかりでなく、DFの柱・永島、キャプテン猪妻ら、欠かせない主役の充実ぶりはもちろん、前田、太田、酒井、岩永、内田ら、なかなかチャンスをつかめずにいた選手たちの躍動、充実ぶりも際立つ。日本代表のサウスパー豊田が海外移籍のためにチームを離れたが、後に続く選手たちの意欲、熱気は、その穴を感じさせない。要所での切り札的な存在となる岩本、中川の力もミックスさせながら、4年ぶりの王座奪還あるのみだ。



トヨタ紡織九州

第30回リーグで初のプレーオフ進出を果たし、念願の日本一への足がかりを築いたはずだったが、前々回は6位、前回は5位と、2回続けてプレーオフ進出すら逃す屈辱を味わった。中畠、呉相民、村上(秀)、阪らコンスタントな得点能力を誇る選手に売り出し中の海道や一本立ちが待たれる藤山、泉原らで押していく攻撃、谷川、松野の二枚看板GKと鶴田を軸に足を止めずにプレッシャーをかける守備ともに、特色、魅力にあふれる。惜敗が続く上位陣との戦いで1つでも多く勝ち点をもぎ取り、まずはプレーオフ返り咲きを果たしたいところだ。



北陸電力

前回リーグは7位に終わったとはいえ、トヨタ自動車、豊田合成を無難に退け、4位のトヨタ車体からは白星を奪い、5位のトヨタ紡織九州とは引き分けと、中身の濃い戦いを見せた。大黒柱の神田を軸に、桜井、山原、落合ら中堅、若手が経験を積み、ルーキー丸山が加わったGK陣も切磋琢磨で力を伸ばしている。全日本実業団選手権では過去最高の6位と、地方アップを実証して迎える今回のリーグ。上位からは警戒され、下位からはターゲットとされる、これまでとは違ったシーズンとなりそうだが、前進、上昇ムードをさらにふくらませたい。



湧永製薬

第22回リーグを制して以降、前回までの10回のリーグでじつに2位が5回。「今年こそ」が合言葉のままで終わる悔しいシーズンが続いてきた。11年ぶりのタイトル奪還しか目に入らない今回のリーグ。坪根、吉家、松村、東らのベテランや鍛えられながら力をつけてきた福田、山中、東長濱、武藤らでメンバーは充実。中山剛前監督を引き継ぎ、選手兼任でチームを引っ張る山口修新監督のあふれる闘志も注入され、名実ともに闘う集団と化したセブンはスタンバイオーケー。大崎電気という願ってもない相手との開幕戦からハイテンションで前進あるのみだ。



トヨタ車体

前回、前回リーグと2年続けてプレーオフ進出。頂点への距離を着実に縮めている。酒巻テクニカルディレクター(日本代表監督)を中心に推し進めてきた、世界へとつながるフィジカルの強さを活かした高速ハンドボールを、より徹底、追求して臨む今回のリーグ。エース門山、世界舞台でも力を実証した高智の日本代表コンビをはじめ、いっそうパワーアップした選手たちの力強いパフォーマンスは必見だ。前回苦しめられたケガやスタミナ、波の大きさといった課題をクリアし、目指している方向性の正しさを証明したい。



Honda

第23回リーグから28回リーグにかけて6連覇を果たした名門も、チームを取り巻く環境の変化もあり、年々順位を下げ、前回は6位に終わった。前回リーグ終了後に引退者も出て、戦力的にはいっそう苦しくなって迎える今回のリーグ。それでも日本代表に返り咲いた最年長の四方を筆頭に、中央にそびえる中谷、河瀬の大型ディフェンダーコンビや鶴見、柳本の両ウイングは健在。この経験豊富なベテランと野嶋、竹田、青山らの中堅、若手をコーチ兼任のセンター横地が巧みにコラボレート。力を最大限に發揮して、存在感を示したい。



トヨタ自動車

前回リーグは豊田合成を対戦間得失点差で上回って8位と最下位こそ逃れたものの、1勝15敗と苦しい戦いを強いられ続けた。その悔しさ、課題を胸に今回のリーグに挑む。中心となるのは、前回、チーム総得点の4割近くをマークし、得点王ランキング、フィールド得点ランキングともに2位をつけた山口を筆頭に、左腕・光増、ポスト・栗崎、ケガから本格復帰となる倉田ら、20代前半の活きのいい面々。これにキャプテン・澤田、福田らの中堅組や稻本、多和田らの若い力をミックスさせた布陣で思い切りよくチャレンジし、ランクアップを狙う。



豊田合成

ランクアップを期して臨んだ前回リーグは1勝15敗でトヨタ自動車と並び、対戦間得失点差で9位。順位は前々回と同じ9位だったものの、最下位に甘んじた。とはいっても、戦いの中身は着実にレベルアップを示しているのも確か。コーチ兼任の主砲・畠中、キャプテン中村のリードに全日本実業団選手権でも活躍した得点源候補の大橋、アグレッシブなDFが光る桶谷、期待の左腕・今村らが絡んで、攻守ともに精度、威力を増して迎える今回リーグ。前回、2戦ともクロスゲームを展開した北陸電力との開幕戦をモノにして、大きな波に乗りたい。



琉球コラソン

沖縄からリーグ初参戦。高さ、パワー不足は否めないものの、日本代表やフランスリーグで活躍し、GMとしてチームのマネージメントにも尽力する田場を柱に、久高、岡田、村山、内田ら高校、あるいは大学で日本一を経験した実力派が顔を揃える。地元・沖縄出身者が多い中で、強打の池田、水野兄弟やGK石田と県外からのチャレンジャーも意欲にあふれている。前哨戦となった全日本実業団選手権では、湧永製薬やトヨタ紡織九州にも善戦。ロングランの戦いは未知数な部分も多いが、東長濱監督がめざす足をフルに活かした戦いに徹し、旋風を巻き起こす。

●ソニー、北國が「打倒オムロン」に闘志 女子



オムロン

前回リーグは洪廷昊、佐久川、勝田ら円熟したベテラン選手の経験、勝負強さと次代の核となる東濱、藤井らの伸び盛りのパワーをミックスさせての3連覇達成。国内タイトルの独占にも成功し、オムロン時代はまだまだ続くかに思われたが、前哨戦となる全日本実業団選手権では北京オリンピック出場の洪廷昊を欠き、主力にケガも出たことで、北國銀行に栄冠をさらわれた。その屈辱からの再起がテーマとなる今回のリーグ。主役たちがコンディションを整え、藤間、久野、城内ら定位置獲得に燃える選手たちがチームを勢いづけられるかが、カギとなりそうだ。



北國銀行

第28回リーグから4回連続してプレーオフ出場を逃したが、前回、5年ぶりにプレーオフに進み、復活を印象づけた。その上昇ムードをふくらませた今シーズンは、全日本実業団選手権でオムロンを下し、じつに15年ぶりとなる優勝を飾ってのスタート。前回リーグ得点ランキング2位の上町、日本代表にも名を連ねる守護神・田代という攻守の切り札を軸に、チーム一丸となっての復活劇だった。高さ、パワーには恵まれず、選手層もリーグの長丁場を乗り切るには不安を残すが、スピード、若さを武器に、幸先良いスタートの勢いをさらにふくらませたい。



三重バイオレットアイリス

前回リーグは好スタートを活かしきれず、3勝1分11敗の5位に終わったが、上位陣との差を着実に縮めていることを実感させる内容の試合が多かった。キャプテン桂や前回、得点ランキング7位の伏見、サイドの橋本らリーグ経験豊富な顔ぶれに、不動のエースへと期待される伊藤や世界学生選手権を経験した毛利、谷口らブレイク候補をミックスさせて、浮上を期す。前回、引き分けた試合や僅差で落とした試合を白星へと変えることができるなら、充分にプレーオフ進出（3位以内）の夢も膨らんでくる。1試合、1点にとことんこだわり、結果を求めていた。



ソニーセミコンダクタ九州

春先に懸念された大幅な陣容の入れ替わりはなく、ドイツ、スペインリーグでプレーしてきた金城も復帰。前回のプレーオフ決勝でオムロンを土壇場まで追い詰めた力は、そのまま引き継がれていると見てよいだろう。郭惠靜、飛田、高栖らは健在。心技両面でのリーダーへの成長が期待される長野や新司令塔候補の樋口、成長株の3年目・川口ら、ベテラン、中堅、若手それぞれの力は充分。悲願のリーグ制覇をたぐり寄せるためには、充分な個々の力を1つにできるか。そして、終盤の勝負所で露呈し続けている詰めの甘さを克服できるかが、ポイントとなる。



広島メイプルレッズ

第23回から29回リーグを7連覇。女王の名を欲しいままにしたが、30回、31回と連続して2位の後、前回は4位とプレーオフ進出も逃した。林五卿前監督に代わり、呉龍基新監督を迎えての新たな船出も、全日本実業団選手権では香川銀行THに敗れるなどして5位に終わる苦しいものとなったが、この大会では優勝した北國銀行から白星をマークしているように、大前、堂面（旧姓・高森）ら黄金時代を知る選手を軸に、心技が充実したときの底力はまだ残っている。強打の植垣ら次世代ヒロインの台頭を促しながら、再浮上のキッカケをつかみたいシーズンとなる。



HC名古屋

前回リーグは3戦1勝2分と先行した三重バイオレットアイリスにも3戦3敗。15戦全敗で勝ち点ゼロと、完全に争いの輪から取り残された形となってしまった前回リーグ。選手層の薄さに加え、ホームコートの改修で充分な練習時間を確保できなかったことも響いた。キャプテンで守護神の近藤、左腕ヒッター佐藤、期待の新戦力・高橋（瑛）らを中心に、現段階での登録メンバーは14人。巻き返しを期す今回のリーグも、置かれた状況の厳しさに変わりはないが、サポーターの熱く、温かい声援を背に、ポジティブにチャレンジしていく。

第32回日本リーグ表彰一覧

《男子》				《女子》			
・最優秀監督賞	清水 博之	(大同特殊鋼)	初	黄 慶泳	(オムロン)	③	
・最高殊勲選手賞	白 元皓	(大同特殊鋼)	②	藤井 紫緒	(オムロン)	初	
・殊勲選手賞	坪根 敏宏	(湧永製薬)	②	郭 惠靜	(ソニー)	初	
・得点王	末松 誠	(大同特殊鋼)	127点	初	郭 惠靜	(ソニー)	145点
・フィールド得点賞	末松 誠	(大同特殊鋼)	113点	初	郭 惠靜	(ソニー)	118点
・シート率賞	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	0.798	初	横嶋かおる	(北國銀行)	0.727
・7mスロー得点賞	香川 将之	(トヨタ車体)	40点	初	吉田 祥子	(オムロン)	57点
・7mスロー阻止率賞	木下 国大	(トヨタ車体)	0.400(8/20)	初	飛田季実子	(ソニー)	0.433 (13/30)
・最優秀選手賞	末松 誠	(大同特殊鋼)		初	郭 惠靜	(ソニー)	
・最優秀新人賞	山口 恭裕	(トヨタ自動車)			植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	
・ベストセブン	GK 坪根 敏宏	(湧永製薬)	⑦	GK 飛田季実子	(ソニー)	②	
	CP 豊田 賢治	(大崎電気)	③	CP 洪 廷昊	(オムロン)	初	
	〃 末松 誠	(大同特殊鋼)	初	〃 佐久川ひとみ	(オムロン)	⑦	
	〃 山口 修	(湧永製薬)	⑦	〃 横嶋かおる	(北國銀行)	初	
	〃 白 元皓	(大同特殊鋼)	⑤	〃 上町 史織	(北國銀行)	初	
	〃 李 才佑	(大同特殊鋼)	②	〃 郭 惠靜	(ソニー)	④	
	〃 宮崎 大輔	(大崎電気)	④	〃 田中美音子	(ソニー)	⑪	
・ベストディフェンダー賞	富田 恒介	(大同特殊鋼)	②	〃 卷 加理奈	(オムロン)	初	
・フェアプレー賞	湧永製薬	122点／16試合 (7.6点／試合)		HC名古屋	118点／15試合 (7.9点／試合)		
〈審判表彰〉							
・最優秀レフェリー賞	家永昌樹 (大阪府)	・福島亮一 (長崎県)					
・最優秀新人レフェリー賞	該当なし						
(○数字は受賞回数)							

第32回レギュラーシーズン結果

男子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差	女子	勝	分	敗	勝点	得点	失点	差
① 湧永製薬	13	2	1	28	547	410	137	① オムロン	13	0	2	26	435	345	90
② 大同特殊鋼	13	1	2	27	555	443	112	② ソニーセミコンダクタ九州	12	0	3	24	481	370	111
③ 大崎電気	13	0	3	26	588	452	136	③ 北國銀行	10	0	5	20	433	336	97
④ トヨタ車体	8	1	7	17	534	475	59	④ 広島メイプルレッズ	6	1	8	13	411	404	7
⑤ トヨタ紡織九州	7	2	7	16	514	485	29	⑤ 三重バイオレットアイリス	3	1	11	7	313	417	-104
⑥ Honda	7	1	8	15	459	451	8	⑥ HC名古屋	0	0	15	0	260	461	-201
⑦ 北陸電力	5	1	10	11	387	489	-102	※順位はレギュラーシーズン終了時							
⑧ トヨタ自動車	1	0	15	2	367	578	-211	男子1～4位、女子1～3位の順位はプレーオフで決定							
⑨ 豊田合成	1	0	15	2	402	570	-168	男子8～9位は対戦間得失点差による							

男子プレーオフ準決勝	・湧永製薬	39-27	トヨタ車体	大同特殊鋼	38-36 (延)	大崎電気
決勝	・大同特殊鋼	39-37	湧永製薬		5 (7mTC) 3	

女子プレーオフ準決勝	・ソニー	31-23	北國銀行			
決勝	・オムロン	31-30	ソニー			

…日本リーグのホットな情報をどうぞ…

★ナマ情報をインターネットで画像とともに……★

○日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

★見どころをあなたのものに郵送いたします……★

○日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHLニュース」

年間21回発行予定/3000円(郵送料込)

※公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)